

北海道における航空搬送の必要性

札幌医科大学附属病院
高度救命救急センター、救急集中治療部
浅井康文



1

北海道の救急医療の特殊性

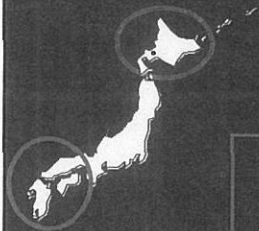
1. 日本の約1/5を占める広大な面積
2. 札幌一極集中、地域間格差
3. 冬期間の降積雪
4. へき地・離島の救急搬送

(北海道には無医地区が138ヶ所、無医地区に準ずる地区が40ヶ所と全国で最も多い)
(2005年度、北海道は14年間ぶりに、交通事故死、日本一を返上した。しかしまた2007年度に戻った)

2

北海道の医療資源

面積 83,514 Km²



面積 84,363 km²



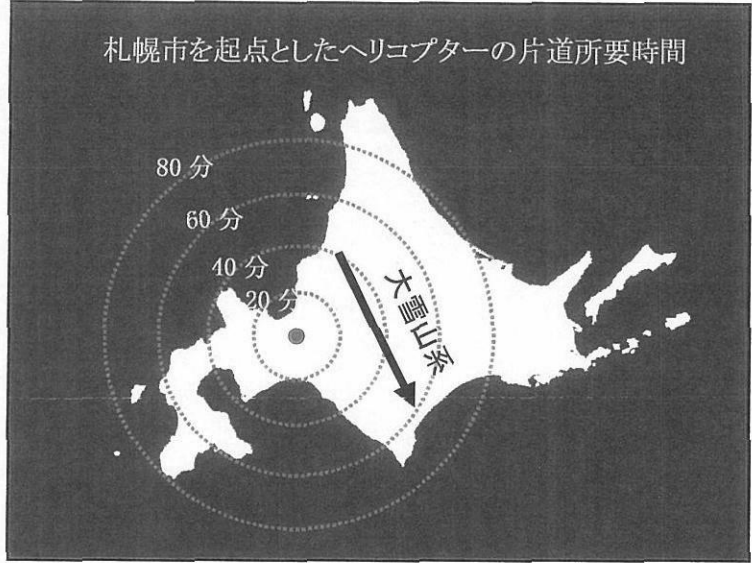
3

1980年以來、27年の歴史(へき地・離島からの搬送)



札幌医科大学: 国公立大学で初めてのヘリポート

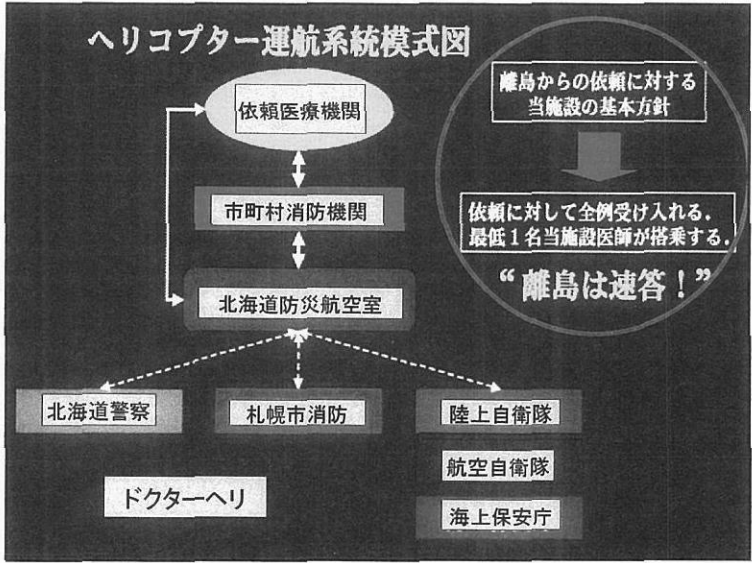
4



5



6



7



8



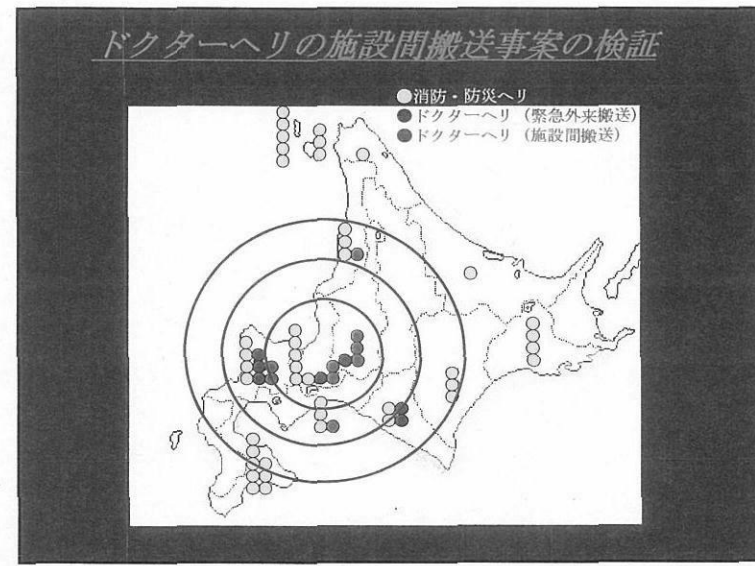
9



10

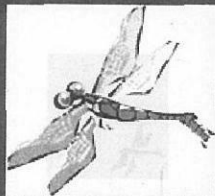


11



12

救急搬送（ヘリコプター）実施機関
連携訓練
（ドラゴンフライ作戦）



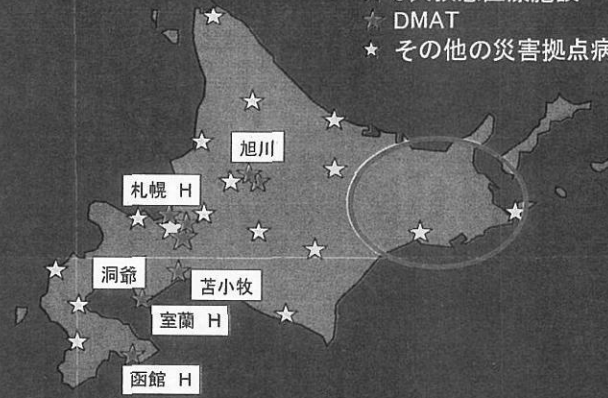
2007年8月23日
江別市：3機合同訓練

2006年8月24日 9:30～11:00
石狩市船場町石狩川河川敷
主催：ドクターヘリ運航調整委員会（委員長：浅井康文）
ヘリコプター運航調整部会

13

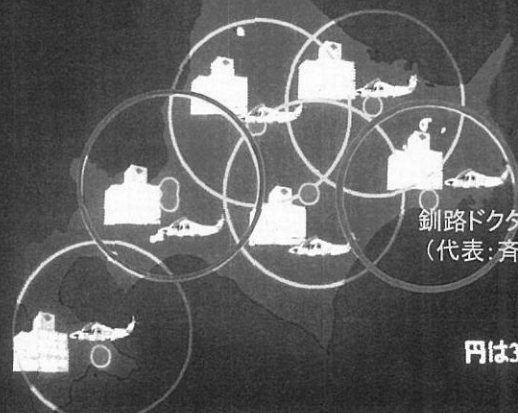
道内の災害拠点病院

- ★ 3次救急医療施設
- ☆ DMAT
- ★ その他の災害拠点病院



14

救命救急センターをベースとした
ヘリコプター搬送システム(想定図)



釧路ドクターヘリ研究会
（代表：齊藤孝次先生）

円は30分圏

15

Case : 48 years old, male (21700192)

2007.9.5.札幌医科大学高度救命救急センターに、
外傷性大動脈損傷に対するステント治療目的の
依頼があり、同日青森県防災ヘリで搬入された。

16

四島から初の救急搬送 やけど男児根室に ヘリで札幌大へ
(2007/10/12)

- 北方領土の国後島で大やけどを負った男児が十二日朝、四島ビザなし交流に使われているチャーター船で根室港に運ばれ、防災消防ヘリで札幌大高度救命救急センターに運ばれた。四島のロシア人が緊急搬送されるのは初めて。
- 男児は一歳十一カ月のニキータちゃん、十一日夕方、自宅でお湯をかぶって全身にやけどを負った。ビザなし訪問で現地に居合わせた外務省職員に対し、日本側の医療機関で治療を受けたいとの要請があり、同省は「一刻を争うということで、人道的な観点から」(ロシア支援室)受け入れを決めた。

